

# 高蔵寺ニュータウン

## すまいるアップ 2018



このパンフレットは、  
国土交通省の平成29年度  
先駆的空き家対策モデル事業の  
補助を受けたプロジェクトの  
成果をまとめたものです。

高蔵寺ニュータウン住宅流通促進協議会の取り組み

# 高蔵寺ニュータウン

高蔵寺ニュータウンは、住宅地として充実したインフラと豊かな自然環境に恵まれた良好な居住環境を有していますが、1968年(昭和43年)の入居開始から50年を迎え、子育て世代の呼び込みが課題となっています。春日井市では、高蔵寺リ・ニュータウン計画を策定し、小学校の統合で生まれた旧小学校の利活用など、まちのリノベーションが始まっています。また、2017年10月にはニュータウンのエリアマネジメントを担う高蔵寺まちづくり(株)が設立されています。



## 高蔵寺ニュータウンの住宅概況

### ■住宅概況

住宅総数は約22,000戸で、このうち8,000戸がUR賃貸住宅、2,400戸がUR分譲住宅で、県営住宅を含め、約半数が公的供給による住宅です。戸建住宅は9,200戸あり、その他が民間分譲マンション、賃貸住宅、社宅です。なお、UR都市機構は高森台団地において集約型団地再生(第1期800戸)に着手しています。

### ■住区構成

ニュータウン中央部に商業・公共施設が集積するセンター地区と7つの住区で構成されています。また、最寄り駅であるJR中央線高蔵寺駅はニュータウンの南端に位置し、駅前バスターミナルから各住区までバス交通で結んでいます。住宅形式は、住区によって大きく異なります。開発の早い藤山台は半数以上がUR賃貸住宅で戸建て住宅が少ないのに対し、開発時期の遅い石尾台、押沢台ではほとんどが戸建て住宅です。

## 高蔵寺ニュータウン

